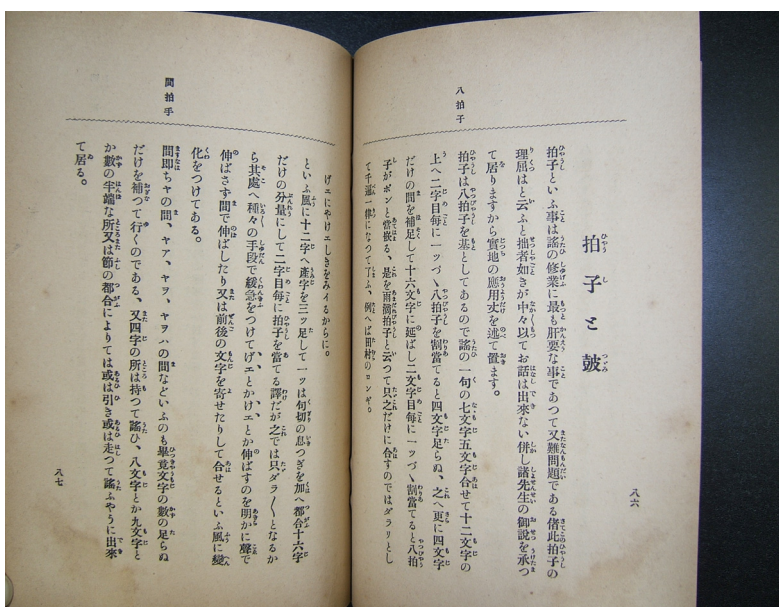
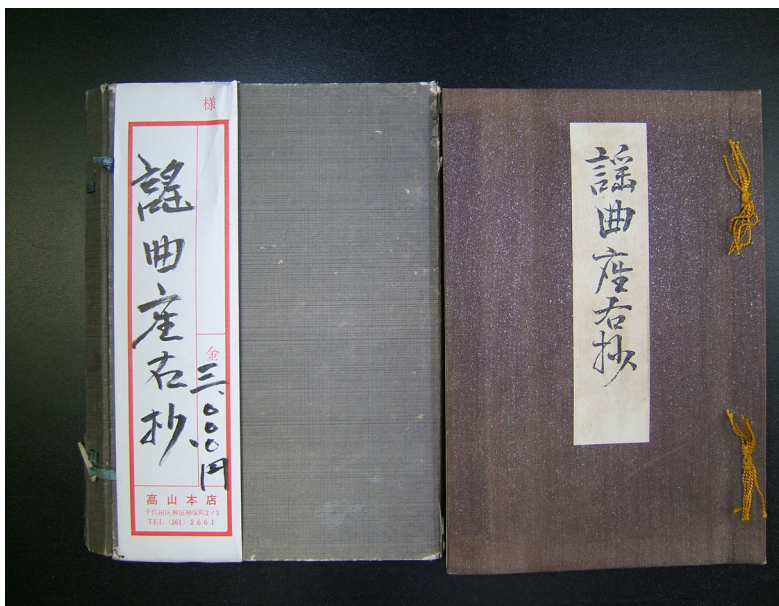


山本松之助 『謡曲座右抄』

素人のための謡の概説書。稽古のための精神論から技術論まで。謡の技術についてのべた最後の節が「拍子と鼓」（八六―八九頁）。拍子あたりの図示もなく、一般の謡曲入門書の中で、拍子が受けている扱いを、分量および本文中の位置から理解できる。「五六年以上謡を叩込んでから鼓の稽古」にかかるのがもつとも適切であるということを強調し、「拍子」は、後から教えるのが正当であることを主張する。



標題 内題…謡曲座右抄

標題紙…謡曲座右抄

奥附…

その他…謡曲座右抄（目次・巻末・題簽）

著者 奥附…山本松之助

その他の場所…山本笑月（巻頭）、笑月（は

しがき）

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…江島伊兵衛

出版年…明治43（1910）

その他の場所…はしがき 明治43（1910）

形態 冊数…一冊十帙 頁数…一〇三頁

寸法…18×13（cm）

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考